**令和２年７月豪雨で被災されたみなさまに**

**心からお見舞い申し上げます。**

　７月３日から熊本県を中心に九州、中部地方など日本各地で発生した集中豪雨。４日ＴＶで熊本県八代、人吉、球磨地方の甚大な被害を知り、驚きました。

通ったことがある道が、橋が、駅が…信じられない光景でした。今日で３週間が経ちました。ずっと天気も安定せず、まだ見つかっていない方々の捜査も難航しているのでしょう。本当に心が痛みます。

　６日には、私の住む大牟田市も被害が発生しました。生まれて初めての水害です。午後から道路も冠水箇所が増え、市役所の仕事が終わる時には、市内の通行止めもあちこち発生していたもよう。帰宅難民になる方が出てきました。私は何とか帰宅できましたが、家の前の道路は膝くらいまで冠水していました。バッテリーが上がり、動かなくなった車も何台もあります。恐ろしさを実感！

我が家は平屋ですので、万一浸水したらどこに逃げようか？と考えたり、非常食や持ち出し袋を点検したり、大事なものを高い所へ移動させました。近くに諏訪川があります。駐車場から玄関までは高低差が１メートル以上あり、大丈夫と思う気持ちと、もしかしたら…と不安が過り、さすがにこの日は、ビールもガマン。車を高台に移動させる時間がなかったので、１時間置き位に玄関から外の冠水の様子を見ていました。有明海の満潮と豪雨が重ならないように祈り、スマホで災害状況河川の水位を確認。眠れない長い夜を過ごしました。

浅い眠りから覚めた時、ポストに朝刊が届いていて感動。水は引いたのだ！と安堵しました。車も大丈夫でした。あとで聞いた話ですが、近くの家は床下浸水したそうです。本当に道路１本で、場所で違うのですね。

地元の会員さんも床上や床下浸水があり、ろう者の家も床上床下浸水が数件あっています。悲しいですね。大牟田市は死者２人、重軽傷３人、床上浸水１０７９戸、床下浸水１７１９戸。道路の損壊１７０カ所、埋没１０カ所。施設損壊３２カ所、土砂災害１０２カ所、地滑り４カ所等の被害が報告されています。

７日は職場の福祉課から、気になる地域のろう者へ安否確認のＦＡＸ。ボートで救助されたろう者の情報もあり、移送先に走りました。福祉課は、この日から超多忙に！罹災・被災証明申請窓口でした。直接担当でない課内の職員もレクチャーを受け、案内や窓口、電話対応に出ました。１週間後に災害相談窓口が開設され、申請窓口が移りましたのでほっとしました。片付けが少し落ち着き情報が入った頃なのか、被災から１週間後の１３日が来庁者は一番多かったと思います。密も避けられないほどの人・人・人・でした。

　罹災とは、一般住宅などでの被害の程度を証明し、被災は、非住宅。たとえば車や室外機、倉庫などの被害の事実を証明するものだそうです。家や車の保険に入っている方、また税金の免除、職場に提出するために証明書を申請されています。罹災申請受け付け後、税務課から家屋調査にまわり、被害の程度が確定されます。どこまで浸水したか等は、具体的にものさしなどを横に置き、写真を撮ること、いろんな方向から撮っておかれることをお勧めします。

被災証明は、現地に行かないので申請時に写真が必要でした。車のナンバーや

水没した写真、塀の壊れた様子など持参していただいています。

写真を拝見すると、胸が痛みます。「ご無事で良かった！」と思うばかりです。

　災害が発生し、被災したら…きっとパニックになると思います。落ち着いたら、被害状況をカメラに収めましょう。記録として撮っておくことは大切です。

税金の免除、住宅の申請、災害見舞金、市町村独自の支援など受けるためには、罹災証明書が、必要になります。罹災証明書が発行されるまでに３週間ほどかかるそうです。災害時の生活再建は、罹災証明申請からともいえると思います。

（申請は災害が発生して１年以内ならできるそうです。）

万一、被災した時のために、頭に入れておきましょう。私も仕事で関わらなかったら、知らないことでした。とても勉強になりました。

　学生時代の友人の家やお店や、実家が被災。悲しくて言葉になりません。

先週の日曜日、社会福祉協議会が運営する災害ボランティアに参加しました。コロナ禍の中、当然ですが、ボランティアの人数や居住地、行動歴、体調に制限もあります。明日も参加する予定です。

「わたしたちにできること」をがんばりたいですね！

　早く梅雨が明けますように！被災された住宅の片付けや消毒が進みますよう、一日も早い復興を願います。

　災害が発生した中でも、新型コロナウイルスの感染者が増えております。

見えない敵との闘いは続きます。密を避け、手洗い、うがいの慣行を続けましょう。今日も一日、みなさまどうぞご安全に！

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　杉野　有美子